

社会人入試（冬季）学生募集要項 （一般社会人・熟年社会人）

1. 募集の趣旨

本研究科はこれまで、社会生活上の様々な経験を有する社会人に、大学院でのより深められた再学習や職業的専門的知識修得の機会を与えるために、小規模の社会人入試を実施してきました。しかしながら、近年における国際化・情報化の急速な進展のもとで、生涯学習の多様なありかたの一貫として、社会人への大学院のより広い門戸開放は、社会的要請となっています。

そこで、本研究科は「一般社会人」の他に、「熟年社会人」「派遣社会人」というそれぞれ出願資格・選抜方法を異にする類型を設定し、社会人の多様な学習・研究ニーズに対応しています。

「熟年社会人」は、主として中高年の有職者と就業経験者及び主婦の職業生活・社会生活上の様々な経験に基づく専門学習・研究ニーズに対応するものであり、「派遣社会人」は、官庁、企業等における職員の高度専門職業人としての再教育の要請に応えようとするものです。

なお、合格後これらの社会人院生は、大学院設置基準第14条により、第2学年次において夜間における講義を受講することができます。

2. 出願資格

1. **一般社会人**については、次の各号のいずれかに該当し、かつ【令和4年4月1日現在、大学卒業後若しくは学士の学位取得後1年以上社会人としての経験を有する者】又は【令和4年4月1日現在、満25歳以上の者】

なお、ビジネス・データサイエンス専修プログラム（1年制社会人コース）については、次の各号のいずれかに該当し、かつ【令和4年4月1日現在、大学卒業後若しくは学士の学位取得後3年以上社会人としての経験を有する者】

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者及び令和4年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (6) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月までに修了見込みの者
- (7) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月までに授与される見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者〔注〕

〔注〕 出願資格(9)により出願しようとする者は、出願資格の事前審査を行うので、事

前に「出願資格審査要領」を本学入試課あてに請求し、**その申請を令和3年11月29日(月)17時までに行うこと**。この期限までに申請を行わない場合には、資格審査が受けられなくなることがあります。

なお、出願資格審査要領は入試情報ホームページから入手することもできます。

URL <https://www.shiga-u.ac.jp/admission/>

2. **熟年社会人**については、一般社会人の中で令和4年4月1日現在、満40歳以上の者
なお熟年社会人では、ビジネス・データサイエンス専修プログラム(1年制社会人コース)の希望はできません。

3. 出願期間

令和3年12月20日(月)から12月24日(金) 17時(必着)

- (1) 郵送(書留速達)の場合は、期間内必着としますので、郵便事情を十分考慮して送付してください。
- (2) 持参の場合は、各日9時30分~17時まで受け付けます。

4. 入学検定料

30,000円

- (1) 入学検定料は、令和3年12月13日(月)から12月24日(金)の期間に払い込んでください。
- (2) 入学検定料は本学所定の5連式払込用紙を使用して、最寄りの銀行又は郵便局窓口から払い込んでください。**なお、現金自動預払機(ATM)は利用できません。**
- (3) 滋賀銀行の本・支店から滋賀銀行彦根支店への払い込みの場合のみ、手数料は不要です。その他の金融機関(滋賀銀行以外の銀行・郵便局等)からの払い込みは手数料が必要となります。
- (4) 払い込み後、「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書」を受け取り、受付印があることを確認してください。
なお、受付印を受けた「**振替払込受付証明書**」は、検定料納付確認票の所定欄に貼付してください。
- (5) 持参の場合も銀行又は郵便局で入学検定料を払い込み後、出願書類一式を持参してください。
- (6) **出願時現在、日本国政府(文部科学省)から奨学金を得ている留学生は納付不要です。**
この場合はその旨を出願時に申し出てください。ただし、他大学に在籍している者は、当該大学が発行する「国費外国人留学生証明書」を提出してください。

(注) 入学検定料返還該当者への返還手続について

入学検定料返還の該当者は以下のとおりです。以下(ア)(イ)に該当しない者は理由の如何を問わず検定料の返還は行いません。

(ア) 検定料を払い込んだが出願しなかった(出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった)者

(イ) 検定料を誤って二重に払い込んだ者

該当する者は、入試課(0749-27-1023)まで連絡してください。なお、返還請求に際しては、「振替払込請求書兼受領証」が必要ですので、請求まで大切に保管しておいてください。

5. 出願手続

1. 出願書類等

| 出 願 書 類 等 | | 摘 要 |
|-----------|----------------------|---|
| 1 | 入 学 志 願 票 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 |
| 2 | 受 験 票 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・氏名等を記入してください。 |
| 3 | 写 真 票 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・写真貼付欄に記載された要件を充たした写真を貼付してください。 |
| 4 | 検定料納付確認票 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・受付印を受けた「振替払込受付証明書」を貼付してください。 |
| 5 | 卒業証明書又は 卒業見込証明書 | ・出身大学長又は学部長が作成したもの。 なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。 ・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。 ・本学経済学部及び本研究科の研究生として 原本又は、原本証明した卒業後の証明書 で出願している者は、提出する必要はありません。 |
| 6 | 成績証明書 | ・出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。 なお、証明書は原本又は、原本証明したものであること。 ・本学経済学部を卒業した者及び卒業見込みの者で、証明書の発行を本学に委任する者は、提出する必要はありません。 ・本学経済学部及び本研究科の研究生として 原本又は、原本証明した卒業後の証明書 で出願している者は、提出する必要はありません。 |
| 7 | 志 願 理 由 書 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 |
| 8 | 研 究 計 画 書 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 |
| 9 | 小 論 文 (熟年社会人のみ) | ・「博士前期課程で研究したいテーマ」についての小論文(400字詰原稿用紙10枚～20枚)を提出してください。 *ワープロの場合はA4サイズで4,000字～8,000字とする。 |
| 10 | 研 究 業 績 書 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 |
| 11 | 在留カードのコピー (外国人のみ) | ・在留カードの表面と裏面のコピーを提出してください。 ・在留カードの交付を受けていない者は、パスポートの顔写真のページのコピーを提出してください。 |
| 12 | 「受験票等在中」 封 筒 | ・本学所定の封筒を使用してください。 ・受験票受取人の郵便番号、住所、氏名を記入し、404円分の切手(簡易書留)を貼付してください。 |
| 13 | あ て 名 票 | ・本研究科所定の用紙を使用してください。 ・合格通知書受取人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入してください。 |

(注) 5 卒業証明書又は卒業見込証明書、6 成績証明書を除く出願書類については、日本語以外で書かれたものは、必ず日本語訳を添付してください。

5 卒業証明書又は卒業見込証明書、6 成績証明書については、日本語・英語以外で書かれたものは、日本語訳を添付してください。

日本語訳については、公的機関または公的翻訳資格を有する者が行ったものに限り、
該当するものが無い場合は、第三者(機関)によるものとします。

2. 出願上の注意事項

- (1) 出願書類により氏名等が相違する場合は、これを確認できる証明書（戸籍抄本等）を提出してください。
- (2) 入学検定料を払い込み後、出願書類を一括して本研究科所定の封筒に同封し、郵送又は持参により提出してください。**なお、払い込み済みの「振替払込受付証明書」が貼付していない場合は、出願を受理しません。**
- (3) 郵送の場合は、出願期間内に到着するよう必ず「書留速達」で送付してください。
- (4) 出願書類の分割提出は、受け付けません。
- (5) 不備のある出願書類は、受け付けません。
- (6) 出願書類受理後は、記入事項の変更を認めません。
- (7) 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

3. 出願書類の提出先

滋賀大学入試課 (〒522-8522 彦根市馬場一丁目1番1号)

6. 選 抜 方 法 等

入学者の選抜は、一般社会人及び熟年社会人に分け、それぞれについて出願書類及び学力検査（筆記試験及び口述試験）の結果を総合して判定します。

なお、入学後の主指導教員は、研究計画等を勘案して、希望する指導教員から変更することがあります。

ビジネス・データサイエンス専修プログラムを希望する者の可否については、合否通知と併せて通知します。

また、出願書類受理後は、ビジネス・データサイエンス専修プログラムについて、記入事項の変更を認めません。

7. 学 力 検 査 科 目 及 び 要 領

1. 一般社会人

(1) 筆記試験

①出題科目等

| 類 型 | 出 題 科 目 |
|----------|---------------------------------|
| A類 経済学 | 「理論経済学」「政治経済学」「統計学」「金融論」「国際経済論」 |
| B類 経営学 | 「経営学総論」「マーケティング論」 |
| C類 財 政 | 「税法」 |
| D類 社会・歴史 | 「経済・経営史」 |
| E類 会計学 | 「財務会計」 |

※ビジネス・データサイエンス専修プログラムを希望したことによる筆記試験の科目指定はありません。

②科目等選択方法

| 専攻名 | 科 目 等 選 択 方 法 |
|------------------|---------------------|
| 経済学 | A類, C類, D類 から1科目を選択 |
| 経営学 | B類, E類 から1科目を選択 |
| グローバル・ ファイナンス | A類, C類, E類 から1科目を選択 |

(2) 口述試験

提出された「研究計画書」を中心に、希望研究分野に関して口頭試問します。

(3) 学力検査期日及び試験時間

| 試験科目 | 期 日 | 試験時間 |
|------|--------------|--------------|
| 筆記試験 | 令和4年1月22日(土) | 9時30分～11時00分 |
| 口述試験 | 同上 | 13時00分～ |

2. 熟年社会人

(1) 筆記試験

出願時に提出された「博士前期課程で研究したいテーマ」についての小論文をもってかえます。

(2) 口述試験 上記の小論文を中心として行います。

(3) 学力検査期日及び試験時間

| 試験科目 | 期 日 | 試験時間 |
|------|--------------|--------|
| 口述試験 | 令和4年1月22日(土) | 9時30分～ |

3. 試験場

滋賀大学大学院経済学研究科

彦根市馬場一丁目1番1号

8. 合格者発表

1. 合格者発表日時・場所

令和4年1月28日(金) 13時(予定) 彦根キャンパス正門掲示板

2. 合格通知等

合格者には、合格通知書を郵送します。この合格通知書及び掲示板の掲示をもって、正式な通知といたします。また、入試情報ホームページにおいても同時刻より合格者を速報いたします。詳しくは巻末の「入試情報サービス」をご覧ください。

なお、電話等による合否結果の問い合わせには応じられません。

●以下は共通事項(34頁)へ続く

1. 受験上及び修学上の配慮に関する事前相談
2. 受験上の注意事項
3. 入学試験の実施に関する注意事項
4. 入学料・授業料等
5. 入学手続
6. 長期履修学生制度
7. 個人情報の取扱い
8. 入学試験個人成績の開示
9. その他